



本校では、各学部において人権の大切さについて考える「人権教育」の授業を行っています。

各学部で温かい雰囲気の中、工夫を凝らしながら授業を進めています。今年度も授業の様子をご紹介します。

小学部



小学4年生～6年生は、「やさしく、なかよく、きもちよく過ごすために」をテーマに3つの目標（①気持ちのよい挨拶や言葉遣い、動作などを考え、嫌な気持ちの表現方法も考える。②困ってしまう様々なケースでどのように対処したらよいかを考える。③相手への思いやりや自己表現の仕方について考え、生活に生かそうとすることができる。）のもと活動しました。学習の中では、「どっちがいいかな?」と、いろいろな場面（挨拶・話す・聞く・友達が困っているとき・イライラしたときなど）の具体的な態度についてみんなで考え、よい手段や方法を実践しました。また、「やさしく、なかよく、きもちよく」過ごすための魔法の言葉（どうぞ・いいよ・ありがどう）などを確認して「褒めほめじゃんけん」をしてお互いに認め合える心地よさを体験しました。

（1～3年生も学校生活全般をとおして、なかよく過ごす体験を重ねています。）

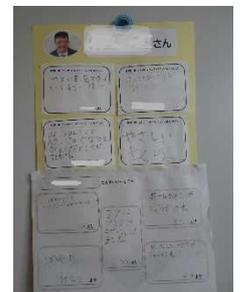
中学部

中学部1年生は、「気持ちを考えよう」をテーマに、友達との適切な関わり方や人の気持ちに配慮した言動など、相手の気持ちや立場を考えて実践する学習をしました。

「ふわふわ言葉とちくちく言葉」について知り、風船バレーゲームを行う中で、ふわふわ言葉やちくちく言葉を使って応援し、お互いの気持ちを確認しました。その後、言葉によってどんな気分になるのかを感じて、言われて嬉しくなる言葉をたくさん見つけました。

2年生も同様に「ふわふわ言葉ちくちく言葉」で友達と協力する雰囲気を作り、自分や友達の得意なこと探しました。その中で友達との適切な関わり方や人の気持ちに寄り添う言葉や態度の理解を深めました。

3年生は、「友達と仲良く」をテーマに2年間の学習活動を振り返りながら「ふわふわ言葉」や友達・自分のよいところを見つける学習をしました。

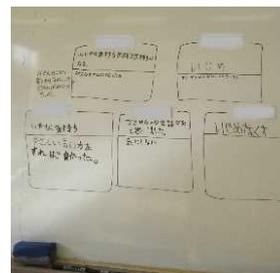


高等部

高等部1年生は、「優しい言葉をつかおう～相手と自分の気持ち～」をテーマにSNSの書き込みについて考えました。SNSに書き込みする前に相手の気持ちを考えて言葉を選ぶことの大切さに気が付きました。また、協力して共同作業を行い友達と気持ちを合わせる経験をしました。

2年生は、「ちがいについて考えよう」と、グループに分かれて意見交換をし、いろいろな立場から物事を考えたり、相手とのコミュニケーションをより良くしたりすることを学びました。

3年生は、「インターネットと人権侵害」をテーマに、インターネット利用時には部分的な情報だけでなく、背景や思いを理解しようとする大切さを考え、意見交換をしました。



～各学部で、温かい雰囲気作りを大切にお互いの意見を尊重し合いながら学習活動が進められました。～